

令和6年度全国学力・学習状況調査 結果分析 羽曳野市立高鷲中学校

学力状況調査・・・【国語】

成果と課題

【成果】

情報活用能力を問う問題「本文中の情報と情報との関係を説明したものを選択する」の正答率が約75%あった。

正答率70%を超えている問題から、本文中の情報を読み取る力がついてきている。普段の学習のまとめとして活用している「振り返りシート」での、本文中の内容を使って書くということの成果があったと考える。

【課題】

知識・技能を問うような問題である、漢字の書きや、短歌の表現技法、行書の特徴などの問題が府より10ポイント下回っていた。

情報活用能力を問う問題で情報を集めることはできているが、集めた情報を整理して、要約する力が課題であることがわかった。特に、文章を書くという力が、府より下回っている。

これからの指導の重点目標

読むこと・書くこと・文法や表現技法などの知識といった基本的な国語の力を身に付けさせる。

読むことにおいては、引き続き「振り返りシート」を活用して、本文中の情報から、自分の学びを簡潔にまとめて書くということが続けさせていきたい。

書くことにおいては、情報を集め、まとめて整理するなど、本文の内容や図表などを使って、書かせていきたい。

普段の授業の導入で漢字の学習時間を取り入れ、漢字の読み書きの力を付けさせていく。

文法に関しては、2年生までの復習問題を解かせながら、基礎知識を身に付けさせる。

令和6年度全国学力・学習状況調査 結果分析 羽曳野市立高鷲中学校

学力状況調査・・・【数学】

成果と課題

【成果】

授業の最初に基礎的な計算問題に取り組んできたので、比較的短文の基本問題はその成果が出ている。また関数の問題に関しては、他の領域と比べて、全国・府平均との差が少なくなっており、授業で様々な関数を利用し活用する問題や規則性の問題を取り入れた成果と考える。

【課題】

問題の内容や何を解く・考えるのかについて長い文章で説明されている問題の正答率が低い。また、「データの活用」の分野での正答率が低く、基本的な確率の問題の正答率の低さが顕著に見られた。文章を読み、理解する力や、データを読み取り、整理する力(主に確立や箱ひげ図を利用した内容)が課題である。授業やワーク、テストでも経験したことがある形式の問題ではあるが、その理解度・定着度や初見の問題を読み、求められているものを理解する力や、必要な知識・技能を考える力を育成していくことも今後の課題と考える。

これからの指導の重点目標

- ・ 授業開始時に行っている基礎的な計算問題の演習は続けていく。
- ・ 授業内やテストでは、「文字式を用いた説明」「条件をもとにした証明」「文章をしっかりと読み解かせる問題」を意識的に出題し、粘り強く問題に取り組む力を育てたい。
- ・ 確率の内容を基本的なことから復習するだけでなく、「データの活用」において、データの読み取りや整理、四分位範囲の意味や箱ひげ図の活用に重点をおいて指導する。

令和6年度全国学力・学習状況調査 結果分析 羽曳野市立高鷲中学校

学習状況調査・・・【質問紙】

調査の概要（質問紙結果より一部抜粋）

①

学校に行くのは楽しいと思いますか		
本校	大阪府	全国
88.5	82.5	83.8

大阪府・全国より肯定的割合が高い
⇒楽しく学校に通えている生徒が多い

②

自分にはよいところがあると思いますか		
本校	大阪府	全国
71.5	81	83

大阪府・全国よりも肯定的割合が低い
⇒自分に自信のない生徒が多い(自己肯定感が低い)

③

友達関係に満足していますか		
本校	大阪府	全国
83.2	89.2	90.1

大阪府・全国よりも肯定的割合が低い
⇒友達関係で悩んでいる生徒がいる

④

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか		
本校	大阪府	全国
88.4	91.1	92.3

大阪府・全国よりも肯定的割合が低い
⇒学校生活では友達関係に気をつかいながら生活している

⑤

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか		
本校	大阪府	全国
67.4	63.2	64.3

1時間以上勉強している割合が、大阪府・全国よりも高い
⇒学校以外での学習習慣がついてきている

⑥

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか		
本校	大阪府	全国
45.3	31.5	36.2

2時間以上勉強している割合が、大阪府・全国よりも高い
⇒休みの日であっても自分で勉強する習慣がついてきている

⑦

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、ゲームをしますか		
本校	大阪府	全国
67.4	54.6	48.9

1時間以上しているゲームをしている割合が、大阪府・全国よりも高い ⇒ ゲームをたくさんする傾向にある

⑧

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか		
本校	大阪府	全国
76.8	79.2	77.9

大阪府・全国よりも肯定的割合が低い
⇒学習した内容について見直しを持つことが出来ていない

⑨

分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか		
本校	大阪府	全国
86.3	79.5	78.6

大阪府・全国より肯定的割合が高い
⇒分からないことに対して、自ら動くことができています

⑩

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか		
本校	大阪府	全国
89.4	83.6	86.1

大阪府・全国より肯定的割合が高い
⇒多様な考えに触れ、自分の考えを振り返ることができています

成果と課題

【生活について】

①で大阪府・全国よりも高い数値をとっていることから、楽しく学校に通えている生徒は多い。しかし、③や④の数値が大阪府・全国よりも低いことから、友達関係に悩んでいたりと、その中で、協力するというよりは、友達の顔色を伺いながら生活している様子が見てとれる。また、②の数値が低く、自分に自信の無い生徒が多くいることもわかる。

【学習について】

⑤や⑥の結果から、学校以外の場所で自主的に学習していく習慣が徐々についてきていることがわかる。しかし、⑦の結果から、ゲームもたくさんしていることも分かる。

学びへの向かい方としては、⑧の結果が大阪府・全国よりも低いことから、学習した内容について見通しをもつことに少し難しさを感じている状況がある。しかし、⑨や⑩の結果より、学び方を工夫する姿が見られたり、話し合う活動を通して新たな考え方に気づけたりと、自分で自分の行動や考えを振り返る場面では、しっかりと活動をする事ができていることがわかる。

これからの指導の重点目標

【生活について】

楽しく学校で生活は出来ているが、友達関係に悩んでいたりと、友だちに気をつかいながら生活をする様子が結果から読み取れる。また、自分に自信が持てない生徒も多い。学級活動・学校行事等を通して、他者とともに協力しながら達成感を感じられるような取組みの積み重ねにより、生徒の自己肯定感や中学生としての集団意識を高めていく取組みが必要となる。

【学習について】

学校以外での学習の習慣が少しずつ身についてきている。また、自ら学び方を工夫したり、話し合う活動を通して、新たな考え方に気づけたりすることも出来てきている。しかし、学習の見通しをもって、次の授業につなげることが難しいことがあるため、「1時間ごとにしっかりと振り返りの時間をとる」「テストごとに次のテストへ向けての計画を立てる」など、生徒たちが自律的に学びを改善していける機会を多くとっていく必要がある。